

1995年より毎年正月に、オリジングループの社員の皆さんに「年頭の辞」と称して、前年の振り返りと新年の抱負のメッセージを発信してきました。今年の「年頭の辞」はシステムオリジンの社長として最後のメッセージになるので、本来「年頭の辞」は社内向けのメッセージであるのですが、敢えてこの「団塊耕志録」に載せさせて頂く事にしました。すべての社員の方が新しい役割に挑戦しているいま、自分の新しい役割に躊躇しつつ、私もささやかな挑戦宣言とさせてもらいます。

(2016年1月19日)

2016年年頭にあたって

清野吉光

2016年正月

於 清水@日本

## 幕藩体制の試行への挑戦 || オリジンの2015年

2015年の4月、一年

かけて準備してきたオリジンの幕藩体制の試行が始まった。全国を4つの藩にわけ、システム系の藩主、営業系の副藩主の下に、フィールドサポートも含め、小集団たる藩全体がお客様のニーズに応えるために自立し、迅速に権限と責任を持つて対応していこうという体制だ。そして幕府はその藩を支え、サポートし、藩間の連携をとり、なおかつオリジン全体のミッションを実現するための方向を定める。そうした意図を持つて開始された幕藩体制の試行はどんな経過をたどっているだろうか？もとより試行である以上、100%は期待されていない。しかしもともと核心的な点は、想いと意識である。もちろん人に寄って温度差はあるのだろうが、清野から見れば、この一連の経営改革||幕藩体制構築の趣旨はしっかり受け止められていると感じている。確かに藩、奉行のそれぞれの状況においては、課題がある事は確かだが、ある意味、前進したが故の課題であり、試練でもある。

## 清野吉光氏のコラム 第85回

# 団塊耕志録

清野 吉光(きよの よしみつ) 略歴

1950年 長野県四賀村生まれ、松本深志高校卒業。1968年上智大学外国学部ロシア語科入学、1971年 中退。その後印刷関係など様々な職業に従事。1976年清水市の日の丸交通入社。1980年静岡市内の事務機器センターに入社。1982年システムオリジンを仲間と創業、専務取締役。1992年代表取締役社長就任。2000年(株)タクシーサイト創立、現取締役会長。2007年タクシーアシスト代表取締役社長に新任。現在に至る。

## 最後の「年頭の辞」



経営人材は、実戦的な難題、苦闘によってこそ鍛えられるし、成長もできる。何よりも藩主、奉行に始まり、藩士に至るまで他人事ではなく、自らの、あるいは自らの集団の課題として受け止めようとしている事こそが、そう思う理由である。その意味で、2015年4月からの幕藩体制の試行は着実に前進していると思う。

とは言い、経営改革の出発点となった会社の理念に即した評価基準やその運営の仕組みなどは、未だ確立していない。社員の人が目を輝かせて働くため(ホワイト企業)の規準や仕組み、雰囲気、行動原則、それを現実化するマネージメント力が確立している訳ではない。これらは2016年4月の第3次創業||幕藩体制の本格施行に向け、海野新将軍のリーダーシップの下に集中的に詰めて行く必要がある。



がある。が、しかし、第3次創業にとつて、この4月は完成ではなくスタートに過ぎず、不断に自らの意識と仕組みと組織をブラッシュアップしていく地道な営みが続くのだと思う。この地道な営みとシステムオリジンのしっかりとした業績があつてこそ、オリジングループが社会的役割として目指す「総合生活移動産業創造のお役に立つ」というミッションの現実性が担保されるのだと思う。

2016年は  
タクシー業界そのものの  
存亡が問われる年

すでに業界誌やコラムなどで述べられているように、2015年に現れたライドシェアなど、タクシー業界にとつての所謂「黒船」は2017年にはなんらかの形で解禁され、従来のタクシー業界の存立基盤を脅かす事になるだろう。名古屋のある有力なタクシー事業者の見立てでは2016年中に、彼らに対抗できるITシステムを含むビジネスモデル、サービスメニューのメドをつけられなければ、海外のライドシェアグループに日本の移動産業は席卷されるだろうとの事。まさにこの15年来オリジナルグループが提唱してきた日本の「総合生活移動産業」の現実化が問われるところである。

当然にもこの為には、システムオリジンのシステム開発（IP網による利用者用スマホ、新タブレット車載端末、新スーパタクシーシステム）（これがオリジナルにとつては決定的に重要だが）、のみならず白タクに対抗し得るスマホ共同配車のスキームをオリジナル

プがサポートして全国展開し、各地で総合生活移動産業を創造する「移動産業の顧客向けコンシェルジュプラットフォーム」を作り上げる別の次元の活動も必要になる。言わば寺前顧問の言う、「人流サードパーティ」の構築が問われている。

さらにこのプラットフォームが利用者から支持される実態をもつためには、そのプラットフォームに乗る移動サービスの質と量が問われる。質の面では大稲グループ、肥後タクシーグループをはじめ、チームネクストに参加されるつばめグループ、キャビック、千代田タクシー、コミュニティタクシー、三ヶ森タクシーなど独創的で顧客志向の移動メニューと結び付き、また東京の大手、准大手のタクシー事業者との連携、全タク連などへのサポートを実現して行かなくてはならない。さらに海外のインバウンド客の移動産業への呼び込みの為に台湾系資本ではあるが、広くアジアの華人圏にネットワークを持つ会社や、ロンドンブラッ



クキャブのヘイロー、シンガポールに本社を持つ「グラブタクシー」、中国の「滴滴快車」などのスマホ配車システムとの連携（日本での受け皿）を目指さなければならぬ。

こうした多元的な活動を実現するために、本来システムオリジン内の事業承継という観点から提案された持ち株式会社オリジナルホールディングスも、こうした多元的なミッションを実現する為の事業子会社の連携調整役の役割を果たさなければならぬと思う。システムオリジンの社長をこの

3月で退任する清野の役割も、オリジンホールディングスの代表として（海野將軍もこのホールディングスの代表取締役副社長を担って貰うが）このオリジナルグループ全体のミッションの実現にあると思う。株式会社オリジンホールディングスが株式会社システムオリジン、株式会社タクシーサイト、株式会社タクシーアシスト、株式会社タクシー支援サービスなどの協力を得ながら、他の様々なパートナーとコラボレーションを組み、この2016年のタクシー＝移動産業業界の「明治維新」的事業のお手伝いができたらと思う。システムオリジンの社長としての「年頭の辞」のメッセージはこととして最後になるが、引き続きオリジナルグループとしてのミッション実現の為に、よろしく今後もお付き合いのお願いしたいと思います。

それでは2016年、この激動の年が、皆さんにとつて、そして私にとつて、大いなる飛躍の年となるよう祈念して、私の最後の年頭の辞とします。

**タクシー買取専門店だから出来る高価買取**  
LPG、ガソリン、過走行、低年式等でも大丈夫!



**株式会社ジェット**

東京都公安委員会 第305561207814号



本社：〒174-0041 東京都板橋区舟渡 1-15-9 ブローブ浮間舟渡 101 ☎03-6454-9896